

都留文科大学 研究紀要

第 97 集

目 次

論文

地面に死を蒔きつけて、もう一度生を生え出させる — シャーウッド・アンダソンの「トウモロコシ蒔き」を読む（前編）—	儀部 直樹	1
イエスベルセン・サイクルと学習英文法	大野 真機	27
韓国史における人格神（天）と良心宣言 — 儒教と東学・天道教を中心として —	邊 英浩	35
国際機構としての BRICS の研究 — 「成立」から活動初期の段階（2001-2011年）—	水野 光朗	47
地域振興に息づく音楽文化 — 再考《ちゃっきりぶし》の歴史 —	戸ノ下達也	57
農産物輸入規制緩和措置からみた産地変動と卸売市場集荷圏の変化 — ユリ切花流通を中心として —	両角 政彦	81
世界 8 か国 9 人の日本人起業家経営者の研究 — Covid19とピボット戦略（事業転換）—	佐脇 英志	107
コロナ禍における韓国留学の現状と課題	朴 惠蘭	123
共通善と脱構築 — マッキンタイアのサルトル批判を通して —	柴崎 秀穂	143
古代ギリシアにおける教養・教育の理念に関する研究（24） — W. イェーガーの『パイデア』に学ぶ —	畑 潤	171
山部赤人「富士の山を望る歌」の聖武天皇即位寿歌としての機能	鈴木 武晴	（1）
海上千葉氏と香取内海 — 内海をめぐる戦国争乱 —	鈴木 哲雄	（17）
近代小説の〈語り〉の構造 — 台湾短編小説・柯裕棻『冷蔵庫』を読む —	周 非	（41）
内村鑑三 闘いの軌跡（11）	関口 安義	（67）
近代小説の未来・村上春樹『木野』論とその行方	田中 実	（95）
翻訳 グローバルな「中核」での農業における移住労働への依存増大 — 米州・欧州・アジア太平洋地域の国際比較から —	ヨアン・モリネロ・ジェルボー 著 上野貴彦 訳	227

2023

都留文科大学